

とっとり県民活動活性化 センターつうしん



第43号
2025.7.31
発行

大学生によるミニプロボノ



学生が地域で活動している団体を知ることや、学生の視点で活動の魅力を発見することを目的として、鳥取大学地域学部と連携し「大学生によるミニプロボノ」を実施しています。

4年目となった今年は「大学生による〇〇に向けた団体の魅力発信のチラシ作成」(情報発信支援)をテーマに約20名の学生が取り組んでいます。

支援受入団体は、一般社団法人みんなの実家、佐治漆研究会、一般社団法人助産院いのちねの3団体です。学生は6～7人でチームを作り、団体の活動拠点や活動場所に出かけて関係者にヒアリングをし、チーム内で話し合いを重ねました。活動場所を訪れ直接お話を聞いたことで、より学生の理解が深まったようです。

8月には成果物が完成し、支援受入団体にお届けします。



〈取組のながれ〉	5/30(金)、6/3(火)、6/5(木)
5/1(木)研修	団体へのヒアリング
5/15(木)団体による活動紹介	6/19(木)、6/26(木)中間提案
5/22(木)チラシ作りに関する研修	7/31(木)成果物報告会

とりボラカフェ&みな学

「助成金報告会&助成金について学ぼう！」

鳥取市

令和7年5月26日(月)、鳥取市総合福祉センター(さざんか会館)にて、鳥取市ボランティア・市民活動センターと共催で、令和6年度鳥取市市民まちづくり提案事業助成金の事業報告会と助成金について学ぶミニ講座&意見交換会を開催しました。(参加者:15名)

事業報告では、助成金を申請したきっかけや、申請時に困ったこと、活用した感想などを発表いただきました。その後、当センターから助成金・補助金全般について、近年の傾向や探し方、申請書作成のポイントなどをお話しました。

最後に、質疑応答と助成金についての意見交換を行いました。



令和7年度〈第1回〉ミラ・クル・とっとりプラットフォーム交流会 —大学の先生に聞く！—「若者が地域に関わる“きっかけ”とは」



6月24日(火)に令和7年度第1回目の交流会をオンライン(Zoom)で開催しました。

(参加者数24名/参加団体数20団体)

昨年度も実施して好評だった「若者と地域」をテーマに、鳥取大学工学部の長曾我部まどか先生にご登壇いただき、参加者の皆さんと意見交換を行いました。

オープニングトークでは「こういったタイプの若者を巻き込みたいのか。若者像を明確にする」、「学生のイベントにまず参加をして若者と接点をつくる」といった若者に地域づくりに参画してもらう上でのポイントを長曾我部先生から伺いました。また事前に募った質問に対して、「地域活動に興味を持つきっかけは自分がやりたいことか。楽しそうか、役に立つか」、「忙しい若者や住民には、まずは負担にならないことからやってもらう」といったアドバイスもいただきました。意見交換の時間では、参加者の皆さんから「活動費を捻出する機会をつくってあげる」や「学生が学生を呼んできてくれることもある」、「若者のアイディア、知識は大人の学びにも繋がる」といった若者と関わってきたのこれまでの経験や気づきなどを共有しました。



〈第2回〉ミラ・クル・プラットフォーム交流会

「防災拠点見学と防災ゲーム」



7月16日(水)に、米子市と協定を結び地域の防災拠点となっている美保テクノス株式会社様にご協力いただき、「防災」をテーマとした交流会を開催しました。(参加者21名/参加団体12団体)

講師は、とっとり SDGs伝道師で防災ゲーム「風水害 24」の公認ファシリテーターでもある安全環境本部安全環境室の洋谷友子さんが務めました。



前半は、「防災拠点とは？」などの解説に続いて災害時にも使用できるトイレや発電機能などを案内していただきました。その後、参加者の皆さんで力を合わせて非常用の簡易トイレや段ボールベッドの組み立て、また防災食の試食なども行いました。

後半は、風水害が起きた時にどのように判断し行動すればよいかを学ぶ防災ゲーム「風水害 24」を体験しました。参加者の皆さんからは「普段から

の顔が見える関係性が大事」、「災害時は情報が大事。また情報を見極めていくことも必要」といった感想が聞かれました。SDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」を体感する機会となりました。

来年2月には鳥取市内で「災害」をテーマにした交流会も開催予定です。





TottoRE:Makers(鳥取市)



「樫の森」を後世に伝える会(琴浦町)



非営利活動団体きやらぼく(米子市)



SEEK(岩美町)

「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン2024」寄付金額のご報告

令和6年(2024年)11月20日～12月31日に県内21店舗の協力により実施した「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」の寄付金の額が確定しました。

352,310円(通年実施分を含む)

集まった寄付金は、県内の子ども・子育て支援の活動をしている団体へ順次渡されました。ご参加くださいました企業のみなさま、お買い物をしてくださったみなさま、ありがとうございました。



2025年度中間支援組織役職員向け合同研修報告

現場最前線の中間支援組織で働き・経営してきた講師が教える 中間支援組織人材学校「春の集中講義」



中国5県の NPO 支援を行う中間支援組織は毎年春と秋に合同研修会を行っています。4月25日(金)～26日(土)には春の研修会を岡山で開催しました。災害、脱炭素、教育など、さまざまな視点から中間支援組織のあり方や組織運営について改めて考える機会となりました。ここで学んだことを今後の支援に生かしていけるよう努めていきます。

募集中！

【控除対象特定非営利活動法人 指定支援補助金】

条例個別指定制度に基づく指定を受けようとするNPO法人が、土業等への相談を行う経費等を補助します。

【対象経費：土業への相談に係る経費、会議費、消耗品、アルバイトにかかる賃金等】

【専門家派遣事業】

あなたのお悩み(会計・労務 etc.)に合わせて、センター登録の専門家を年2回まで無料で派遣します。

派遣可能な専門家

税理士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・中小企業診断士・ICT支援アドバイザー・ファンドレイザー等



第41回地域づくり団体全国研修交流会 栃木大会 ～こでらんねえ栃木県～

- 開催日程: 令和7年11月7日(金)～11月9日(日)
- 会場: 栃木県内13会場(全体交流会、全体会は宇都宮市)
- 申込受付期間: 令和7年7月1日(火)9:30～8月18日(月)23:59



主催／地域づくり団体全国協議会、
第41回地域づくり団体全国研修交流会栃木大会実行委員会
後援／総務省、一般財団法人地域活性化センター、公益財団法人栃木県市町村振興協会

新任理事・監事のご紹介

この度、(公財)とっとり県民活動活性化センターの新任理事・監事に以下の方々が就任しました。

理事 松本 典久 (鳥取県政策統轄総局長)

監事 鼻渡 信幸 (株式会社鳥取銀行倉吉中央支店支店長)

INFORMATION

鳥取県内のNPO法人数

(令和7年7月30日現在)

認証法人	288法人
認定法人(特例認定含む)	8法人
条例指定法人	3法人
縦覧中	1法人

とっとりSDGsプラットフォーム 登録団体数(令和7年7月24日現在)

企業	22団体
NPO・ボランティア団体	76団体
教育機関	4団体
自治体・公的機関	5団体
個人	16名

《お問合せ先》

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 小林、寺坂、谷、世瀬、山部、中山、野口、西田
〒682-0023 倉吉市山根 557-1 パープルタウン 2 階 電話 0858-24-6460 / ファクシミリ 0858-24-6470
Eメール info@tottori-katsu.net センターHP <https://tottori-katsu.net/>

- 東部とっとり創生支援センター 電話 0857-20-3528 県東部庁舎 1 階 東部地域振興事務所内 担当：椿
- 中部とっとり創生支援センター 電話 0858-24-6460 パープルタウン 2 階 活性化センター内 担当：谷
- 西部とっとり創生支援センター 電話 0859-31-9385 県西部総合事務所 3 階 西部振興課内 担当：池淵